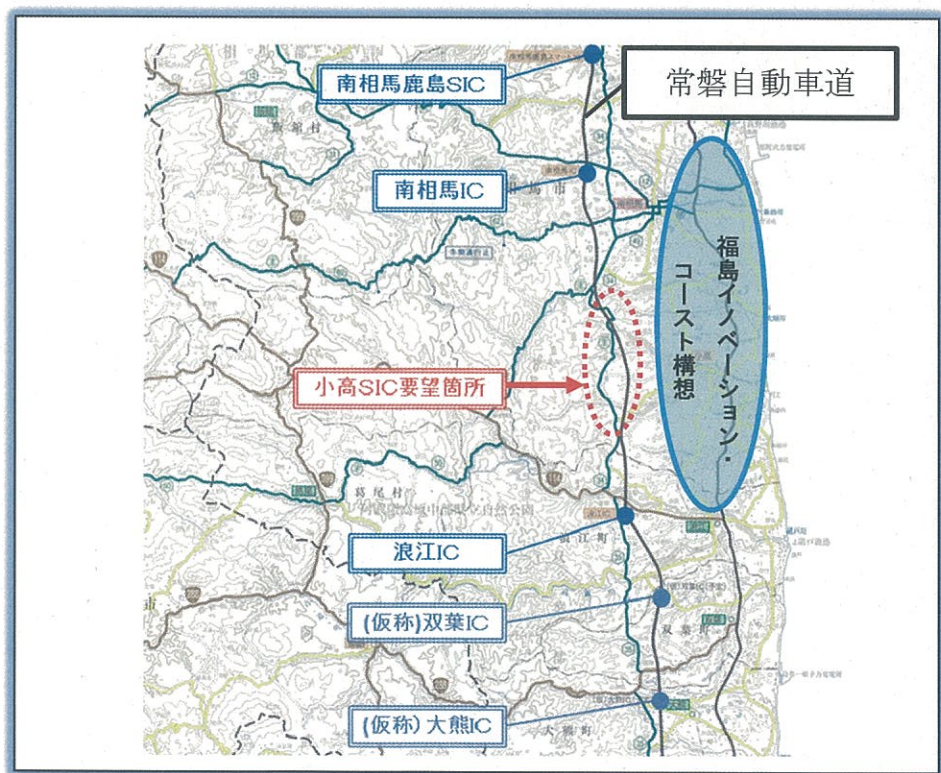


平成30年3月27日

国土交通省道路局長

石川 雄一 様

(仮称) 小高^{おだか}スマートインターチェンジの
準備段階調査の早期採択に関する
要 望 書



福 島 県
福島県南相馬市

(仮称) 小高^{おたか}スマートインターチェンジの 準備段階調査の早期採択

要望の内容

日頃より、福島県の東日本大震災からの復旧・復興の推進と、高速ネットワークの形成につきまして、格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

特に、常磐自動車道においては、暫定二車線区間の四車線化や付加車線の設置工事などを推進していただき、重ねて御礼申し上げます。

(仮称) 小高スマートインターチェンジ(以下、「(仮称) 小高スマート I C」) は、浪江 IC と南相馬 I C 間が約 18 km と距離が離れていることから、その中間の南相馬市小高区で設置を希望しているものであり、周辺地区では、「福島イノベーション・コースト構想」による復興工業団地(ロボットフィールド) や避難区域解除に伴い再開した工業団地、新たな復興拠点施設の整備が進められております。

南相馬市において策定した、南相馬市復興総合計画に沿った「小高復興アクション・プラン」では、スマート I C の整備による「交流促進による地域の活性化」と「企業活動の支援による産業振興」などの効果を踏

また各種施策を掲げ、交流や移住・定住の促進、歴史文化の再発見、企業誘致の推進等の取り組みを進めております。

(仮称)小高スマートICの設置による高速道路の利便性向上により、企業の事業再開の加速化や企業誘致の推進、観光振興による交流人口の拡大など、様々な効果が見込まれることから、製造業者及び観光関係者、地元住民からも大きな期待が寄せられており、当該スマートICの準備段階調査が早期採択されるよう、強く要望いたします。

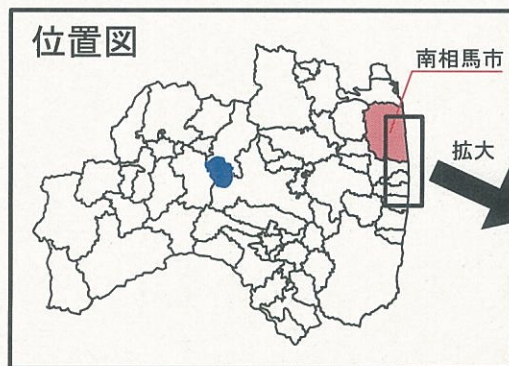
平成30年3月27日

福島県知事 内堀雅雄

南相馬市長 門馬和夫

(仮称) 小高スマートICの準備段階調査の早期採択

平成30年3月27日
福島県
福島県南相馬市



【(仮称)小高スマートIC整備効果】

- ・交流促進による地域の活性化
- ・企業活動の支援による産業振興



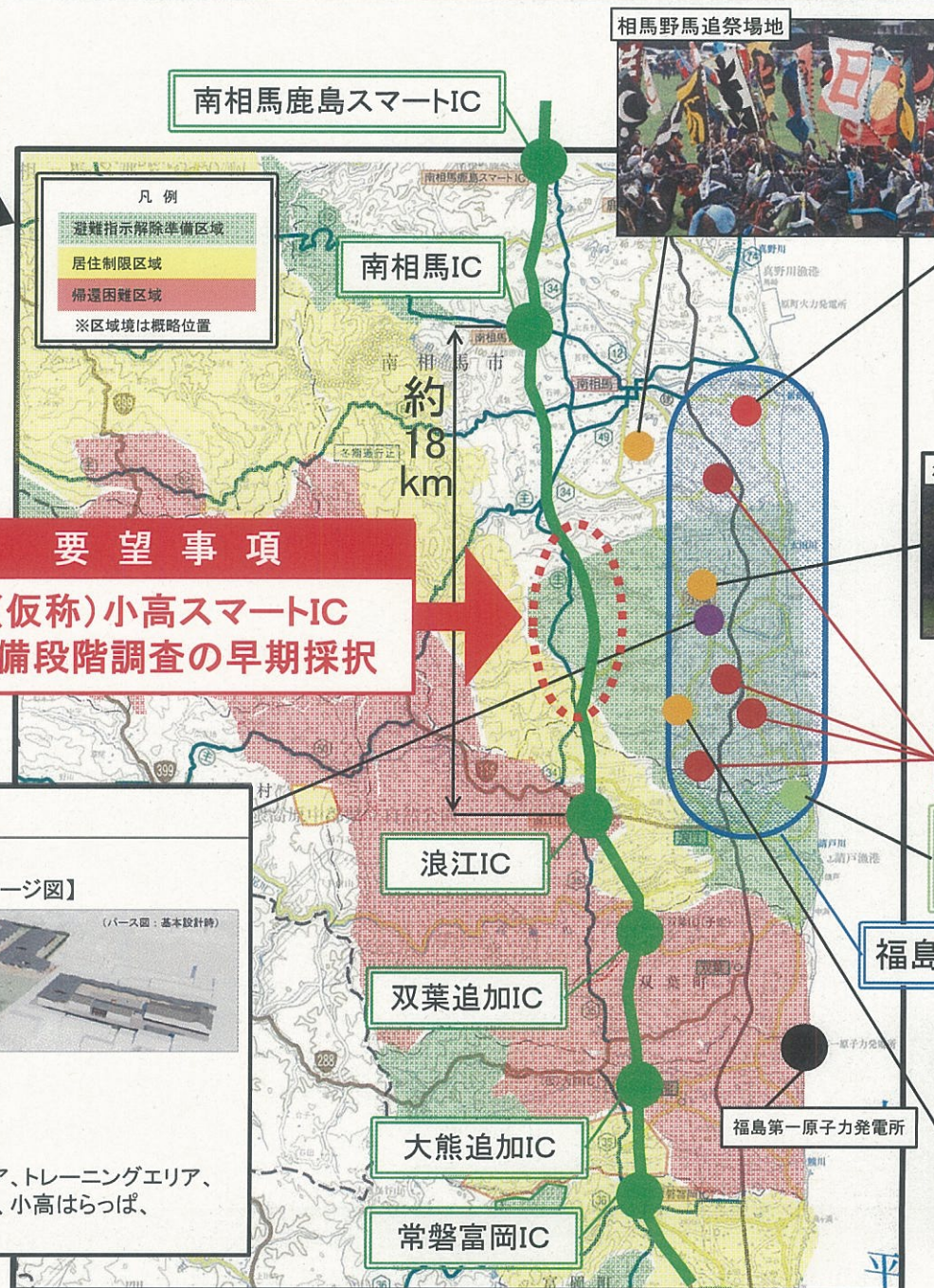
【小高復興アクション・プラン】

- ・交流や移住・定住の促進
- ・歴史文化の再発見
- ・企業誘致の推進

などの取り組みを進める。

要望事項

(仮称)小高スマートIC
準備段階調査の早期採択



復興工業団地

- ・整備面積: 70ha
(ロボットテストフィールド、国際産学官共同利用施設: 50ha)
- ・一期工事 (A=33ha) 造成工事平成29年度完了
- ・平成30年度から随時開所予定【完成イメージ図】



工業団地

ロボットテストフィールド
水素生産工場

福島イノベーション・コースト構想



復興拠点施設

【完成イメージ図】

小高神社

市街地の核 (コアゾーン)

多世代交流エリア

運動・エクササイズエリア

トレーニングエリア

子育てサロン

地域マルシェ

カフェ

小高はらっぱ

イベント広場など

- ・整備面積: 5,866㎡ (駐車場含む)
- ・完成予定: 平成30年秋
- ・主な施設: 多世代交流施設、エクササイズエリア、トレーニングエリア、子育てサロン、地域マルシェ、カフェ、小高はらっぱ、イベント広場など